

## リノモ沿線における愛知県の取組

### 1. リノモの利用促進と沿線の活性化プロジェクトチーム会議の開催について

リノモの利用を促進し、沿線の活性化を推進する庁内体制を強化するため、「リノモの利用促進と沿線の活性化PT」及び「沿線活性化WG」を設置し、庁内横断的に方策を検討。

会議・開催日	内 容
第1回全体会議 (H23. 5. 10)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PT・WGの設置及び進め方について</li> <li>・リノモの利用促進に向けた庁内の取組について → 夏休みイベントの共同PRなどについて協力依頼</li> <li>・リノモ沿線地域づくり構想の概要と状況について</li> </ul>
WG会議 (H23. 6. 8)	<p>リノモ公園西駅周辺整備事業について、関係課室から調整を要する意見の提出 → 長久手市が関係課室と調整を行ったうえ、土地対策会議や個別法に基づく手続き中</p>
第2回全体会議 (H23. 10. 18)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リノモの利用促進に向けた庁内の取組状況について → 春休みイベントの共同PRなどについて協力依頼</li> <li>・平成23年度第1回リノモ沿線地域づくり会議についての報告 → 委員の提言・要望に対して積極的な対応を要請</li> </ul>

### 2. 「知の拠点あいち」の整備について

#### ○「あいち産業科学技術総合センター」(整備・運営：愛知県)

供用開始：平成24年2月14日(火)

施設概要：地上3階建、鉄筋コンクリート造、延床面積14,896.43㎡(研究室、計測分析室等)

- ・産学行政の共同研究や高度計測分析機器を用いた分析評価を実施。
- ・1階に、以下の施設を整備(休館日：土曜日、日曜日、祝日)  
「科学技術展示コーナー」…施設で行われている研究内容の展示をはじめ、DVD上映や模型を使った体験型装置など、一般来客者や社会見学のための施設。  
「モノづくり体験コーナー」…子供がモノづくりの楽しさを体験できる施設。
- ・研究室の廊下には、パネルを掲示するなどして、研究内容を紹介。
- ・ホームページで施設見学を随時受付。

職員・研究員等数：常駐100名程度、非常駐400名程度(愛知県職員、(公財)科学技術交流財団職員、研究者等)

駐車場：来客用 54台

#### ○「シンクロトン光利用施設(仮称)」

(整備：(公財)科学技術交流財団、科学技術振興機構、運営：(公財)科学技術交流財団)

供用開始：平成24年度(予定)

施設概要：地上2階建、鉄骨造、延床面積5,503.11㎡

職員・研究員等数：常駐10名程度、非常駐10数名

駐車場：来客用 6台

### 3. 愛・地球博記念公園の施設整備について

#### ○こどものひろば

- ・平成 23 年 3 月に策定した「こどものひろば整備の基本的考え方」に基づき、民間事業者による整備を視野に入れながら、集客機能の充実・強化を図ると同時に、リニモの利用促進等につなげていく。
- ・今年度は基本設計を実施し、平成 24 年度は、実施設計を実施する予定。

#### ○健康スポーツひろば

- ・テニスコート（6 面）、テニス兼用フットサルコート（2 面）  
…平成 24 年 4 月 1 日供用開始
- ・多目的球技場（サッカー、ラグビー等）…平成 24 年秋頃供用開始予定

#### ○サイクリングコース

- ・供用開始：平成 24 年 4 月 1 日
- ・全長 5.1km 自転車レンタルあり（有料 200 台）。個人自転車（※一部制限あり）の乗り入れ可能。

#### ※個人自転車の制限

全日禁止：一輪車、三輪車、補助輪付き自転車、変形自転車、ブレーキのない自転車、複席車（タンデム車）

土日休日禁止：高速走行を目的とする自転車（いわゆるロードバイク）

#### ○その他の施設

- ・県民公園づくり空間（里山風景を再現した施設 平成 25 年度以降供用開始予定）
- ・キャンプ場（デイキャンプ利用を中心とした施設 供用開始時期未定）



## 4. リニモを利用するイベントの開催について

### 【愛知県】

- リニモの森のスタンプラリー  
平成23年7月16日～8月31日 参加人数：3,475人
- 夏休み・リニモ親子教室  
平成23年7月27日～8月28日のうち全32回 参加人数：2,557人
- リニモ体験乗車&車両基地等見学会  
平成23年10月29日、11月6日  
平成24年2月4日、11日、19日 参加人数：743人
- リニモ沿線ミュージアムウィーク  
平成23年10月29日～11月6日 参加7施設利用者数：36,939人  
(前年同期比111.5%)
- リニモ海賊団の宝さがし  
平成24年3月3日～3月29日 参加人数：5,069人

### 【東部丘陵線連絡協議会】

- わくわく体験リニモツアーズ  
平成23年7月23日～8月29日のうち全20回 参加人数：1,621人
- リニモ沿線ウォーキング
  - ・新緑ウォーキング  
平成23年5月14日～6月4日のうち全3回 参加人数：約3,300人
  - ・秋色ウォーキング  
平成23年10月15日～12月11日のうち全5回 参加人数：約6,300人
  - ・早春ウォーキング  
平成24年2月18日～3月24日のうち全5回 参加人数：約7,600人

## 5. 大村知事と語る会について

- テーマ：「大学生と語るまちづくりーリニモ沿線地域のにぎわいづくりー」
- 開催日：平成23年11月19日（土） 午後2時から午後4時まで
- 場所：愛・地球博記念公園 地球市民交流センター体験学習室
- 参加者：以下のとおり（五十音順・敬称略）
  - 石川直道 愛知学院大学 総合政策学部3年
  - 稲津雅也 名古屋商科大学 経営学部3年
  - 金澤良和 愛知工業大学 経営情報科学部4年
  - 岸野孝昭 愛知医科大学 医学部3年
  - 柴田悠希 愛知淑徳大学 文化創造学部4年
  - 中野健一 愛知県立芸術大学 音楽学部2年
  - 阪野李歩 椋山女学園大学 現代マネジメント学部4年
  - 村松朝子 愛知県立大学 文学部4年
- 参加者からの主なご提言と、それに対して後日とりまとめた県の対応については、別添資料（平成24年2月13日公表）を参照。

## 6. リニモ芸大通駅・陶磁資料館南駅周辺活性化調査について

資料4を参照。

## 7. 構造改革特区の提案について

提案項目：リニモ駅周辺における高架下の建築規制の緩和

### ○現行制度における規制等

都市計画法では、市街化調整区域内における建築物の建築を制限し、また、建築基準法では、道路内の建築物について、公益上必要な場合などにおいて建築審査会の同意を得た建築物以外の建築を制限している。

### ○提案内容

リニモ駅周辺のリニモ及び県道力石名古屋線の高架下を、都市計画法及び建築基準法の適用除外とすることで、駅周辺の高架下空間の活用の可能性を広げ、駅利用者や周辺住民の利便性を向上させる施設を設置するなど有効利用することにより、駅周辺に賑わいを創出する。

### ○特区活用の効果

リニモ駅周辺のリニモ及び県道力石名古屋線の高架下の有効利用及び手続きの簡素化が図られる。

なお、本件が認められた場合においても、開発行為や建築物の建築が行われる箇所は高架下に限定されるため、無秩序に開発行為などが広がる懸念はない。

### ○構造改革特区スケジュール

平成24年2月28日 国（内閣府）に提案

↓

<内閣官房が関係省庁と調整を実施>

↓

平成24年5月頃 一定の結論が出る予定

※ なお、内閣官房と関係省庁との調整過程及び結論については、内閣官房のホームページ上（ <http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kouzou2/> ）で公開されます。